

■ 人力による森林調査をドローン調査に変えることで、調査の効率化が可能

■ AI等を活用して高精度に森林資源情報を把握

■ クラウドシステムに必要なデータを入力するだけで、解析結果は自動算出

■ 解析結果をGISソフト上で加工可能

■ 空間線量率が高い地域を含む森林の利活用も検討可能



事業名： 農林水産分野の先端技術展開事業のうち研究開発委託事業

事業期間： 令和3年度～令和5年度

課題名： 3Dスキャナ等搭載ドローンと深層学習を活用した帰還困難区域等の森林資源利用システムの開発

受託者： 帰還困難区域等の森林資源利用システムコンソーシアム

参画機関： 福島県林業研究センター（郡山市）  
（株）大和田測量設計（広野町）  
日本大学工学部（郡山市）  
（一社）食品需給研究センター（東京）

協力機関： 福島県相双農林事務所富岡林業指導所

連絡先： 福島県林業研究センター（郡山市）  
森林環境部 024-945-2161

事業に関する詳細  
情報はこちら



本研究は農林水産分野の先端技術展開事業（JPJ009997）のうち研究開発委託事業「3Dスキャナ等搭載ドローンと深層学習を活用した帰還困難区域等の森林資源利用システムの開発」（農林水産省・福島国際研究教育機構、2021-2023）により実施しました。

Fukushima から  
森林を解析する  
新しいシステム



## 森林資源利用システム

～森林のデータを効率的に解析。未来の森林づくりを支援～

福島県林業研究センター  
（株）大和田測量設計  
日本大学工学部  
（一社）食品需給研究センター